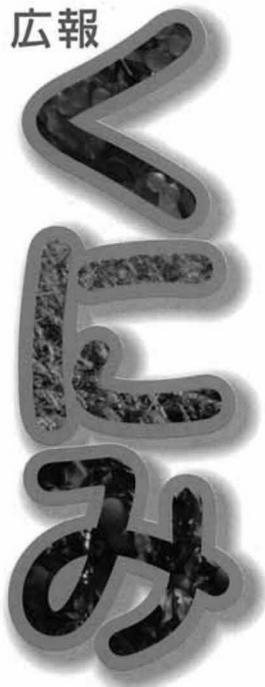


広報



2 0 0 3

6

●平成15年6月

NO.360

全力疾走  
各小学校で  
運動会

小坂・森江野小学校では5月18日に、藤田・大枝小学校では25日に運動会が行われました。藤田小を除く3校では地区住民も加わり、地区運動会として町内会対抗競技も盛り込まれました。

児童たちは徒競走や障害物競争、綱引きや玉入れなど懸命に挑みます。昼には華やかな鼓笛行進が行われ、紅白対抗リレーがスタートすると、全力疾走の児童たちへ大声援が沸き起こります。



C O N T E N T S

伊運地方任意合併協議会設立へ	2
市町村合併に期待されること心配なこと	6
旺盛な士気を披露 消防団定期点検	8
4月のグラビア	10
保健だより	12
インフォメーション	13
生涯学習つうしん	16

伊達9町による

# 伊達地方

# 任意合併協議会設立へ

## 合併に向け大きく動き出す

伊達九町の合併問題を話し合う「伊達地方合併問題協議会」の第四回目の会合が六月十二日に開催され、「伊達地方任意合併協議会」の設立を決定しました。これまで三回の会合により「伊達はひとつ」の考えのもと協議を進めていきましたが、九町すべての町から合併が必要との方向が確認できたことから、合併に向けた準備作業をすすめる「任意合併協議会」の設立となりました。枠組み等はこれから検討されますが、町村合併に向けて大きく動き始めました。

これまで「伊達はひとつとの考えのもとに、合併について住民のコンセンサスを得ながら五月末までに結論をまとめる」との二月二十八日の合意事項を受け、六月四日に第三回目の「伊達地方合併問題協議会」が開催されました。このなかで合併への「各町の結論」を報告され、合併そのものについては必要との認識で一致し、さらに、合併するならば合併特例法の適用により優遇制度のある、平成十七年三月末を目標とすることを申し合わせ

ました。しかし「伊達はひとつ」との9町によるくりについては、飯野町から「難しい」との話があり、川俣町からも消極的な意見が述べられました。このため、各町持ち帰り再協議することでの閉会しました。

これを受けて、六月十二日第四回目の伊達地方合併問題協議会が開催され、各町から「今後離脱する町があっても仕方ない」との意見が出され、任意合併協議会早期立上げを求める声が大勢を占めたことから、任意合併協議会の設置が決定

### 任意合併協議会の 基本的事項

- (1) 設立 平成15年7月4日  
(設立総会)
- (2) 構成町 伊達9町
- (3) 名称 「伊達地方任意合併協議会」
- (4) 委員の構成 町長、議会議長、学識経験を有する者2名(各町4名)
- (5) 事業 合併に関する協議、調査研究、ほか
- (6) 経費 補助金及び各町負担金(平等)
- (7) 事務所 伊達地方衛生処理組合事務所内
- (8) 事務局職員 各町派遣

されました。さらに、名称を「伊達地方任意合併協議会」とし、七月四日に設立総会を開催するなど基本事項を確認しました。また「伊達はひとつ」と九町での枠組みに慎重な意見の飯野町、川俣町についても、任意合併協議会に加わり、ともに協議を進める方向を打ち出したことから、伊達九町により任意合併協議会が発足することになります。枠組みについては流動的ながら、今後、合併に向けた具体的な準備作業がすすめられることとなります。

## 任意合併協議会って？

任意合併協議会は 法律上の規定はありませんが、市町村合併について一定の枠組みで関係市町村が任意に協議を行う組織です。地域・関係市町村の現状分析や将来構想などの協議を進めます。

今回設立される伊達地方任意合併協議会も、すべての町が合併を前提としたものでなく、九町の枠組みの中で仮に合併したらどうなる、合併は可能かも含め自由な協議を行い、地域住民に合併に関する判断材料となる資料を提供するものです。

さらに協議が進み、合併を行うことが確認できれば、議会の議決により、法律の規定により設置される「法定合併協議会」に移行します。

# 国見町「合併やむなし」と表明

国見町と国見町議会では、五月二十七日「市町村合併問題についての議員全員協議会」を開催し、五月末までに合併について結論をまとめるとした。伊達地方合併問題協議会へ臨む方針が検討されました。

各議員からの意見が述べられ、「さけておれない」「進めるべき」と全議員から合併とする方向が確認されたことから、全会一致で、

「合併やむなし」とする方針が決定されました。これを受け、六月四日の伊達地方合併問題協議会において国見町及び国見町議会として、合併に向けた方針が述べられました。

## 議員全員協議会五回開催

市町村合併問題についての議員全員協議会は改選前の三月七日に第一回目が開かれ、合併の必要性、今後の取り組みについて協議されました。改選後は、五月六日・二十七日・六月五日、十三日の四回開催され、これから国見町の歩むべき基本方針が検討されました。

▲これからの国見町について真剣な議論が展開された議員全員協議会



内容は下記「伊達地方・国見町の動き」を、(協議会の内容)

「ご参照下さい」。第三回及び第四回伊達地方合併問題協議会開催の翌日には、協議結果の報告とともに、それぞれの対応策が協議されました。

六月五日には、飯野町・川俣町の対応をめぐり、「参加しない町があっても進めること」を確認、さらに十三日には任意合併協議会設置について、全議員に報告されました。

合併の大きな課題である町村の枠組みや、町民からの意見集約をめぐり議論が展開されました。

## 任意合併協議委員 町長・議長・学識経験者二名

### 今回設置される、任意合併協議会の国見町の委員は、

富永武夫町長と佐藤忠美議長、水野及び学識経験者有する者として、八島博正副議長、町内会長連絡協議会斎藤喜助会長の四名の方です。

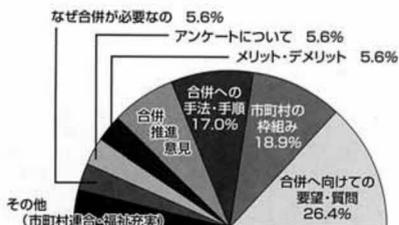
# 伊達地方・国見町の動き

- 2/3 (伊達地方合併問題協議会) 設立
- 2/9 伊達地方9町の町長、議長で構成し、情報を交換しながら合併の是非について検討していく。
- 2/28 (伊達地方合併問題協議会) (第二回) 「伊達はひとつ」という考えのもとに、合併について住民のコンセンサスを得ながら5月末までに結論をまとめる」ことを合意
- 3/7 (国見町議員全員協議会) (一回) 合併の必要性を確認。町と議会がともに取り組むこととし、懇談会の開催等取り組みを協議。
- 国見町合併問題懇談会(町と議会の共催)
  - 3/28 各種団体代表者 4/10 町内会長
  - 4/11 大枝地区 4/14 大木戸地区
  - 4/15 森江野地区 4/17 小坂地区
  - 4/18 藤田地区
- 5/6 (国見町議員全員協議会) (二回) 改選後、合併は避けて通れないことを再確認
- 国見町合併問題懇談会開催(町と議会の共催)
  - 5/19 農林業関係者 5/21 商工業関係者
  - 5/23 女性団体関係者
- 5/27 (国見町議員全員協議会) (三回) 国見町議会の方針について「合併やむなし(合併はさけて通れない)」と全会一致により結論
- 6/4 (伊達地方合併問題協議会) (第三回) 各町から、それぞれ合併に関する考えが報告され、①「伊達はひとつ」という考え方で進める。②平成17年3月31日合併を目標とする。ことを決定。
- 6/5 (国見町議員全員協議会) (四回) 前日の伊達地方合併問題協議会の報告がなされ、伊達9町のくくりで消極意見があることから協議参加しない町があつても仕方がないとし、「伊達はひとつ」という考え方で進めることを確認。
- 6/12 (伊達地方合併問題協議会) (第四回) 「平成17年3月末合併、任意合併協議会の早期立上げ」の意見が大勢を上め、任意合併協議会の設置を決定。基本的事項について協議。
- 6/13 (国見町議員全員協議会) (五回) 任意合併協議会の設置を報告

# 合併問題懇談会 延べ487名が参加

町と議会の共催による合併問題懇談会は10回開催され、延べ487人が参加、67名の方から質問・要望等が寄せられました。また、各種団体の協議会及び総会において、13回約600名の方々に合併に関する説明会を行いました。

寄せられました声を、内容別に大きく分類したものが下のグラフです。合併へ向けて（合併後）の要望・質問が多く、合併への手法・手順についての質問も寄せられています。また、推進を呼びかける声や合併の必要性・アンケートについての質問がありました。（懇談会での内容は広報くみに4月号及び下段で掲載しています。）



懇談会での意見・質問の主な分類

・合併について、現在の他の町に進み具合は、合併について住民のコンセンサスを得ながら五月三十日まで各町が集約し、六月四日の合併問題懇談会で結論を持ち寄ることになっています。詳しい状況は聞いていません。

・郡内各町ではアンケートをとったと聞いているが国見ではなぜ取らないのか。取っていただければ参考資料として反映されたのではないかと合併については、現段階では地方交付税の減少、更に

・私は合併賛成であり、多くの人がそのような考えになつてきています。あとから合併するようなことにならないような合併をよい方向に進めてほしい。

・国見は県境の町であり、あとから手をあげるわけに

## 合併問題懇談会の実施状況

実施日	団体名等	参加者数		
		総数	男	女
3月28日	各種団体	72	59	13
4月10日	町内会長	58	58	0
4月11日	大枝地区	52	46	6
4月14日	大木戸地区	25	25	0
4月15日	森江野地区	41	41	0
4月17日	小坂地区	44	40	4
4月18日	藤田地区	73	61	12
5月19日	農林業関係	57	54	3
5月21日	商工業関係	19	18	1
5月23日	女性団体関係	46	0	46
合計		487	402	85

今月号では5月19日から23日に開催された、農林業関係者、商工業関係者および女性団体関係者との懇談会で出された内容をお知らせします。



農林業関係者との懇談会  
五月十九日

町民サービスの低下等、避けて通れない状況に追い込まれております。今、アンケート調査する段階ではないこともご理解ください。

・政府は猫の目行政でいろんな諸問題を変えている。今発表されたことが反故になる場合もある。合併についても今後の交付税の保証がなくなるのが心配だ。

・全国町村会でも合併は町村の自主的判断によるべきものとし、強制的な合併に反対してきました。しかし、国・県の権限委譲など、処理できる体制を作っていないかなければならないのも事実であり、地方交付税について強く要望しているもの小さい町村では減らそうとする考え方になっている。

はいかない状況があります。伊達みらいの合併の例もあり、苦渋の選択です。伊達郡の各町でもそのような動きがあります。

・生活圏が近い川西地区あたりの合併のほうがメリツトとしては大きいと思えます。合併の規模によって不利益や格差がでるのですか。

歴史的に経過や生活圏などから、各町の考え方もまちまちであり、各町の考え方を聞いたあとで、枠組みになってくると思われます。交付税は算出方法が決まっていることから、大きな不利益、格差はないと思えます。

## 商工業関係者との懇談会 五月二十一日

・合併は大賛成であるが、九町でまとまる理由、町長が考える枠組みは

伊達地方合併問題協議会発足時に「伊達はひとつ」とある意味では抽象的な表現により、意見集約を進めてきた経過があり、何町でこのことはこれからです。

・六月四日に町長はどんな話をするのか。

集約する役割もあり、みんなの話を聞きながら進めたい。

・合併が具体化した場合、職員の減少など、サービスの低下はどう対応するのか。

合併により、分業化や専門化、または企画能力の向上が見込まれます。窓口業務などは大きな低下はないと思われま。

・福島市は合併に消極的のようですが、「伊達はひとつ」枠組みが外れた場合の腹案は。

相手があることであり、今いえることではありません。

## 女性団体関係者との懇談会 五月二十三日

・市町村連合について詳しい説明を。

市町村連合構想は、西尾私案に対して全国町村会が対案として出したものです。消防組合や衛生処理組合な

り、わが町の位置からして、隣接町の動き、話し合いなくしては進まない状況です。

・合併を前提となつた話となつていますが、矢祭町、三春町はなぜ合併しないことができるのでしょうか。

両町、位置や歴史的経過、その他諸要因からの判断だと思われまが、実際的には大変で、やっていけないの

かと思われま。

・合併におけるデメリット

役場が人も含め、遠くなるというのが大きいと思えます。ただ進めなくては、職員の人件費をはじめ、道路など各事業を進めるお金がないのも事実で、住民サービスさえできないようでは進めざるをえませぬ。

・年少人口が少なくなる、現在の四小学校一中学校がどうなるのか。

入学生が少なければ、複式などもありえます。統合の話は、地域の方々と十分な相談が必要です。ただ少なすぎると競争意識低下など問題もあります。

ど広域行政組織があります。市町村連合はさらに連携を強め、長は公選で選びます。しかし、町が負担金を出すなど大差なく、限界があるのも事実で、あまりなじまない考え方ではないかと思つていま。

・市町村連合は合併しなくてもやっていける方法なのでしょうか。

市町村連合は長が公選になるもの、町村は今まで同様に残ります。しかし、財政的には、今後交付税が切り下げられれば小さい町村は維持できなくなる心配があります。

・合併しなければだめなのでしょうか。

現段階では地方交付税の減少、更に町民サービスの低下等、避けて通れない状況に追い込まれていま。伊達九町と福島市の合併もあるのか。私は福島市との合併がいい。

福島市は現在の規模が望ましいとの考えがあり、合併は考えていないようです。町の豊かさや規模などから合併というより、編入、吸収となりかねず、主体性がなくなる恐れがあります。



# 市町村合併に期待されること・心配なこと

## メリット・デメリット

市町村合併によりいくつかの町が集まることで、これまで小さな町では難しかったことが、できるようになるなど、次のようなことが期待されます。

### 1 いろんな施設が使える (住民の利便性の向上)

これまで旧町村で作ってきた、スポーツ施設、保健福祉センター等の公共施設が利用しやすくなります。特に住民票の窓口サービスや保育所など、住居や勤務地の近くなどで多くの場所が利用可能になります。

### 2 いろんなサービスが可能に (サービスの高度化・多様化)

小さな町村では、職員はいくつかの業務を掛け持ちしているため、専門的な対応、高度な取り組みには限界がありました。合併により、専門的職員が配置できると、木目細やかな質の高いサービス提供が可能とな

り、新たな要望にも柔軟に取り組める個性ある行政施策の展開が可能になります。

### 3 大きな事業がやり易く (重点的投資による基盤整備)

これまで難しかった多くのお金をかける大事業が、重点的に行うことができようになります。長い年月をかけて行ったものも、財政規模の拡大により、短期間での実施が可能になります。中核施設は質の高いものを作れることとなります。

### 4 道路など広域的に (広域的視点で立ちまわす)

これまで、町村毎に整備を進めたため町村境で、道幅が狭くなったり、途切れることがありました。道路

などは合併により広い範囲で、連結等を考えながら進められます。このほか、水路や土地利用など効果的に実施することができます。また、各町につくられた

体育施設などの類似施設も重複がなく広域的に計画できます。さらに環境問題や水資源問題、観光振興など、広域的な調整、取り組み等も展開できます。

### 5 経費の節減が可能に (行財政の効率化業務)

各町に町長、助役、収入役、教育長がおりますが、合併で幾つかの町が集まるも、町長は一人となりその他も一人程度となります。また、教育委員会、農業委員会などは町の大きさに関わらず設置していますが、統合され、その分事務の職員も少なくて済み、経費も

## シミュレーション

平成17年3月までの  
合併をめざせば  
主な手続きはこうなります。  
(あくまで想定される日程です)

合併協議 I 期		経過 月数	年月	主な事項
12	6	5	1	任意合併協議会の発定 事務局の設置 各町の住民説明会
16	16	15	7	各町議会 II 法定協議会設置議案の提出・議決 法定協議会設置
				第 1 回合併協議会 (以後随時開催) 合併の是非を含めて市町の建設計画の作成や合併協定項目など、合併に関するあらゆる事項を討議する機関。首長、議員など構成される。円滑な推進のための事務局、幹事会、専門部会などが設置される。
				基本 4 項目提案 (合併方式、期日、名称、事務所の設置) このほか約 2,000 項目ともいわれる協定項

## 合併に期待されること (メリット)

# 心配なこと(デメリット)

節減されます。

同種の事業も、各町個別に取り組むより、一体で取り組めば大幅経費を節減できる、スケールメリットが発揮され、経費をかけないようできます。

## 6 多くの人で支えあう

高齢者抱持率の差均一化

高齢者の増加の反面、それを支える青年・壮年層の

## 「役場が遠くなって、不便になりませんか？」

役場の位置は合併協議会で協議されますが、これまでの町村役場は、合併後も新市町村の支所や出張所として活用され、一部の機能は残りますので、住民票や証明書など日常的なサービスは引き続き行われます。

## 「住民の声が届きにくくなりませんか？」

これまでのように役場に来れば町長と会える、課長と話せるといかなくなり、

減少が想定されます。小さな町で国民健康保険や介護保険制度を維持するには難しく、合併により行財政基盤の強化、安定運営が求められます。介護サービスや道路などの基盤整備など均一な整備が可能になります。

## 7 小さな町で居ずかしく思えも

地域の存在感の低下

大きな市町村の誕生により、地域の存在感、イメージアップにつながり、企業の進出や若者の定着、重要プロジェクトの誘致が期待できます。

地域の総合力向上により、全体的な成長力や苦境を乗り越える力が強くなります。

さらに議員の方も少なくなると考えられます。

そのため、旧市町村間の調整を図る「地域審議会」を設置することにより、合併前の旧市町村の意向を考慮できるよう仕組みを考えます。

## 「税金や水道料など、住民負担は増えないの？」

水道料や国保税、介護保険料などは、町村ごとに定められていますので、負担額に差があります。これらについては原則として「サービス水準は高く、負担は

軽く」調整されるのが一般的です。

合併により住民の負担が急激に増えないよう、所要の法改正等が進められています。

## 「中心部だけがよくなって、周辺部は寂れませんか？」

合併により周辺部は取り残されてしまうのではないかと心配があります。市町村間で合併後のまちづくりをどのように進めていくかを話し合い、中心部だけではなく、周辺部のことにも配慮したまちづくりの

### 合併協議Ⅱ期

合併協議Ⅲ期	19	17	3	14	16	9	13	16	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町建設計画決定</li> <li>「市町建設計画」</li> <li>新市の将来構想や基本方針、根幹となる事業、財政計画などが定められる。</li> <li>協定書とりまとめ決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併関係議案の提出、県議会の議決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的調整が順次行われる。</li> <li>市町建設計画(案)・財政計画(案)報告・審議</li> <li>各町の住民説明会</li> <li>市町建設計画(案)決定</li> </ul>							

計画(市町村建設計画といえます)をつくる必要があります。

## 「国見の名前を残したい」

町の名前は合併協議会で協議されますが、「国見」とすることは困難と考えられます。ここで育まれてきた歴史、文化、伝統などについては、新市町村の貴重な財産として引継ぐこととなり、新市町村内の住所のなかに名称を残すことなどは、今後は協議されます。

いろいろな問題も起こりえますが、それらを克服するためには合併前によく話し合っって良い解決策を見つけることが大切です。

# 旺盛な士気を披露

## 国見町消防団定期点検

消防精神に徹した日頃の訓練の成果を披露する、国見町消防団定期点検は六月八日、藤田小学校などにおいて行われました。観閲から始まり通常・機械点検や各種訓練、ポンプ操法が繰り広げられました。これらの訓練を通じ、消防団員の旺盛な士気と、規律ある訓練の成果が発揮されました。



国見町消防団員、五分団二百名が藤田商店街に整列、統監・富永町長を先頭に朽木勝之団長や消防団幹部、町議会議員を乗せた十四台の消防ポンプ車が通ります。車上からの閲団で定期点検が始まりました。消防団員はラッパ隊、団旗を先頭に藤田小学校まで団員は整然と行進しました。

藤田小学校庭に入場すると出動人員と車両報告がなされ、朽木団長の訓示により集結完了です。式では統監富永町長が「地域住民の生命、身体と財産を守るという崇高な任務を自覚され、使命感をもって消防活動に一層ご精励いただきますよ

## 定期点検表彰受賞者（敬称略）

### ★福島県知事表彰

◎永年勤続章 舟山 武継

★日本消防協会長表彰

◎功績章 菊地 孝一

◎勤続章 朽木 勝之

◎功績章 木村 正義

◎勤続章 横山 孝夫

★福島県消防協会長

◎功績章 松浦 幹男

◎精勤章 舟山 武継

◎勤続章 吉田美智夫

◎勤続章 佐藤 操一 渋谷 薫

秦 富夫 斎藤 政利

赤坂 正勝 羽根 善隆

高橋 信一

◎退職団長感謝状

高橋 力

◎退職団員感謝状

高橋 力

佐久間 武夫 若林 幸雄

松浦 守 高原 正幸

市川 厚一 高橋 光男

佐久間 隆 山田 勲

◎一般人表彰 佐野 武光

◎町長・団長連名表彰

◎退職団員感謝状

高橋 力 石川 好一

菊地 孝一 鈴木 一男

菊地 頭一 東海林忠雄

菊地 信七 徳江喜市郎

実沢 和夫 吉田美智夫

穂月 繁 藤田 一則

◎用地協力者感謝状

野村 春吉 大野 重好

玉手 忠七 阿部 晃

◎優良消防団員

佐藤 保夫 大沼 重好

菊地 吉伴 大内 安雄

後藤 正利 佐久間 茂

安藤 四郎 村上 信夫

山田 勇一 横山 晋作

松浦 知弘 佐藤 茂

曳地 正勝 遠藤 茂

斎藤 幸雄

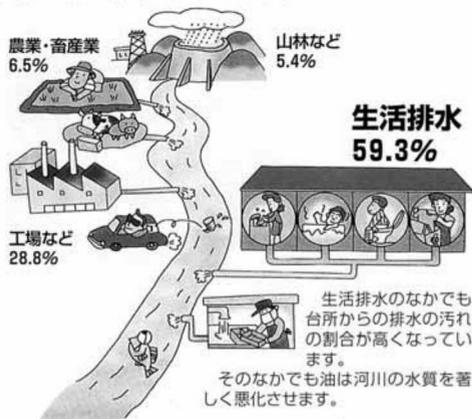
◎現場功労者感謝状

佐藤 洋一 佐野 武光

# 河川の汚れの60%は家庭排水!!

河が汚れる原因には、工場から出る水や家庭から出る水などさまざまですが、特に問題になっているのは家庭から出る「生活排水」です。

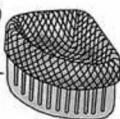
川の汚れの原因の59.3%が「生活排水」であるとの福島県の調査結果が出ています。



## ちょっとしたくふうで河川の浄化がはかられます。

皿の汚れは紙や布で拭き取ってから洗ったり、調理くずや食べ残しを流さないように水切り袋を使いましょう。

三角コーナーには、調理くずや食べ残しの割合を減らすように水切り袋を使いましょう。



## 水きり袋を各戸に配布

阿武隈川の水質浄化のため流域の福島宮城両県の市町村で組織する「阿武隈川サミット実行委員会」の今年度の事業として「水きり袋」を各戸に配布しました。台所の三角コーナーなどで使っていただき、水質浄化にご協力ください。

下水道や合併処理浄化槽を利用されている場合でも、排水の処理能力の向上が見込まれますのでご活用ください。

### ★問い合わせ

住民生活課 住民グループ ☎585-2116  
[kyumin@town.kunimi.fukushima.jp](mailto:kyumin@town.kunimi.fukushima.jp)

うに。」と訓示しました。引き続き各種表彰伝達が行われ、身なりを確認する通常点検、全十四台のポンプ車両および機械器具の点検が行われました。集合団員を二中隊に編成しての各個訓練、小隊訓練が繰り返され、第五分団によるポンプ操法も、きびきびと披露されました。

辞が寄せられ、点検を締めくくりに、統監富永町長は、皆さんの旺盛な士気が遺憾なく発揮され、消防団に対する信頼を一層深めましたと講評。最後に朽木団長は「団員二六二名が一体となり、一層努力していく決意です。」と述べ、町を守る誓いを新たに、定期点検は終了しました。

### 火災発生件数

平成10年	3件
平成11年	7件
平成12年	3件
平成13年	7件
平成14年	4件
平成15年	6件
(15年5月末)	

### 現有勢力

消防団員数	
本 団	4人
第1分団 (小坂地区)	48人
第2分団 (藤田地区)	77人
第3分団 (森江野地区)	59人
第4分団 (大枝地区)	30人
第5分団 (大木戸地区)	44人
消防施設	
消防ポンプ自動車	6台
小型動力ポンプ積載車	8台
小型動力ポンプ	8台
消火栓	95基
防火水槽	79基

藤田商店街に整列する全五分団を車上から閲団する統監富永町長



きびきびとした動きを披露五分団のポンプ操法

# 5月の グラビア



## 児童が田植えを体験



全校で田植えに取り組む小坂小児童

各小学校では地域・PTAの方々との協力による田植えを行いました。裸足になって田にはいると子どもたちは歓声を上げ、泥んこになりながらの作業です。これから収穫までの農作業を体験し、お米になるまでを観察します。田植えを通じ家族の苦労や栽培の難しさを理解し、豊かな心を育むという大きな収穫をめざします。

5月11日に新入学児童を対象とした、「交通安全親子フェスティバル」が伊達町の自動車学校で開催されました。新入学児童を事故から守ろうと交通安全協会などが主催し、交通安全母の会による人形劇をはじめ、実際に車と人形による事故の実演では、恐ろしさを体得、白バイやパトカーへの体験乗車など、交通ルールを守ることを誓いました。



## 交通安全 親子フェスティバル

## 一日まちの保健室



公立藤田総合病院

5月8・9日の両日公立藤田総合病院では「一日まちの保健室」を開設、看護師さんたちが健康相談にあたりました。「看護の日」を記念し例年開催されており、入口のロビーでは血圧測定やコンピューターで若さの測定などが行なわれ、来院者で賑わいました。また、育児相談なども催されました。

藤田保育園と桑折町緑風園のおじいちゃん、おばあちゃんたちが一緒になってサツマイモの苗を植えました。5月30日緑風園内にある約3アールのふれあい農園で行われたもので、例年両園の交流が進められています。孫のような園児と一緒に、手を取り合って苗を植え付け、水をやります。収穫まではおじいちゃんたちが育て上げ、秋にはまた一緒に大きくなったサツマイモを掘りおこします。



## 大きく育て サツマイモ

## のんびり草を食む 町営牧野開牧



昨年10月から冬季閉鎖をしていた、国見町営牧野が5月28日開牧し、放たれた牛たちは、久しぶりに広々とした草地で草を食みました。牧野は国見町と白石市にまたがる丘陵地21haからなり、主に繁殖牛を育成しています。開牧式では管理する、国見牧野利用組合の徳江忠組合長が「秋まで約40頭以上の牛が放牧の予定です。皆様のご協力をお願いします。」とあいさつ。牛たちが事故なく、無事に育つよう祈りました。



福島県写真 大分県写真 長崎県写真 写真クラブ  
三県国見町写真クラブ お別れ会

## 三県国見町 写真クラブ

### 長崎で集い、友好を深める

大分県・福島県両国見町の写真クラブのメンバーが長崎県国見町に集まり、三県の写真クラブが一堂に会し交流を深めました。

当町国見写真倶楽部からは、鈴木俊博会長はじめ十一名が参加、五月二十二日から二泊三日の日程で長崎を訪れました。大分県国見町からも六名が参加、歓迎式では、渡邊秀孝長崎県国見町長と長崎県国見写真ク

ラブの谷守亮会長より歓迎の言葉をうけました。一行は町内散策や長崎県国見町に伝わる伝統芸能「馬さし」踊りの撮影など行い、写真を通じた交流が行われました。二日目には島原市、雲仙を訪れ、午後のお別れ会には、国見高校の小嶺校長も駆けつけました。

平成十年には長崎写真クラブ一行が当町を訪れるなど活発な交流が進められており、今回の交流時に撮影された作品は、九月に予定されている三県巡回写真展に出展されます。



▲町長賞に輝いた松浦さんの「花と微笑み」

## 「ミススピーチ撮影会」 フォトコンテスト

国見写真倶楽部が主催する「第7回国見ミスピーチモデル撮影会」フォトコンテストの審査会がこのほど行われ、最優秀賞となる国見町長賞に松浦英夫さん（駅前）の「花と微笑み」が選ばれました。撮影会は4月13日に親月台公園などで、近隣町村から写真愛好家が参加し行われ、百八点の作品が応募されました。

- 最優秀賞 「花と微笑み」 松浦 英夫(駅前)
- 優秀賞 「微笑」 徳江 昇(第7)
- 「ミススピーチ」 鈴木亀久夫(福島市)
- 「ピュア(純粹さ)」 佐藤 貴章(板橋)



5月25日 大枝地区連合大運動会 大枝地区連合大運動会 大枝地区連合大運動会 大枝地区連合大運動会 大枝地区連合大運動会  
5月18日 森江野地区大運動会 児童も方別に分かれて、たすきをつなぐ方部対抗障害物リレー

## 元気いっぱい 運動会



5月18日 小坂地区連合大運動会 五つ峰にとどけ！小坂っこのファイト！5・6年による150m走のスタート

5月28日 藤田小学校130周年大運動会 騎馬戦により奥州合戦を再現！奥州130年の戦い！大将戦



# 子宮がん検診を 受けましょう!!

# 保健だより

保健福祉課 保健グループ ☎(585)2783  
hoken@town.kunimi.fukushima.jp



## 30歳以上の女性を対象に

子宮がん検診を行います。

\*受診対象者には、受診票を個別に通知いたします。

・期間 7月1日から8月29日まで

(但し、8月7・8、11～16日を除く)

・場所 公立藤田総合病院 婦人科外来

※春の健康管理世帯調査アンケートで町の検診を希望しなかった方で、新たに検診を希望する場合は、保健福祉課 保健グループまでご連絡ください。

## \*\*\* 育児教室 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
平成15年1月～2月生まれの幼児	8月7日(木)	午後1時30分～午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【検診内容】身長・体重測定、赤ちゃんふれあい体操、離乳食試食など

【持参するもの】母子健康手帳を忘れずに!

## \*\*\* 乳児健診 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成15年4月生まれ) ・9か月児(平成14年10月生まれ)	8月28日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

【検診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて

【持参するもの】母子健康手帳を忘れずに!

## \*\*\* 3歳児健診 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
平成12年2月1日～ 平成12年3月31日生まれの幼児	8月19日(火)	午後1時15分～午後1時45分	観月台文化センター 大研修室

【健診内容】内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。

心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。

健診該当者には後日健診票を郵送します。

【持参するもの】母子健康手帳を忘れずに!



検査は受診後の  
対応が重要です

去る5月6日から24日までの延べ15日間にかけて総合検診が実施されました。検診の受診結果が皆様のお手元に届いたことと存じますが、要医療・要精検の結果の方は、早めに医療機関での受診をお勧めいたします。また、体に異常を感じたと思ったら早めに医療機関へ受診し、専門医の診察を受けましょう。

健康は日々の積み重ねによって得られるものです。自分のからだは自分で守り、常に健康なからだでの生活心がけましょう!!

# インフォメーション

## 募 集

### 公立藤田病院組合

(大学卒程度)

公立藤田病院組合では、平成十六年度職員採用候補者試験の受験者を次により募集します。

受験資格◇一般事務  
**【大学卒程度】**：昭和五十三年四月二日から昭和五十七年四月一日までに生まれた者で、大学を卒業又は平成十六年三月までに卒業見込みの者  
**▼募集期限**：六月二十七日(郵送の場合分は六月二十五日消印分まで受付)  
**▼一次試験日**：七月二十七日(日)  
**▼二次試験日**：一次試験合格者に通知  
**▼試験方法**：一次試験は教養試験、二次試験については、小論文、さらに主として人物についての面接による試験を実施  
**▼申込用紙の請求**申込用紙は公立藤田総合病院総務課で交付します。  
**▼申込方法**：

◇申込用紙に必要事項を記入し、公立藤田総合病院総務課に提出のこと。◇郵送による提出も可能です。

★問い合わせ

公立藤田総合病院総務課 ☎(585)2121

### 福島県職員

【資格免許職 高校卒程度】

▼受験資格◇資格免許職(司書・看護師等)  
 ; 職種によって異なるので問い合わせください  
 ◇高校卒程度：昭和五十七年四月二日から昭和六十年四月一日までに生まれた者。学歴は不問。職種については一般・学校・警察事務及びその他の職種があり詳細は問い合わせのこと  
**▼受付期間**：八月四日～八月二十六日  
**▼一次試験日**：九月二十八日  
**【市町村立学校栄養職員・事務職員】**  
**▼受験資格**◇栄養職員：昭和五十一年四月二日から昭和五十九年四月一日までに生まれた者で、

栄養士の免許を有する者又は取得見込みの者  
 ◇事務職員：昭和五十七年四月二日から昭和六十年四月一日までに生まれた者  
**▼受付期間**：一次試験日は(短大・高校卒程度)と同じ

### 【警察官B】

▼受験資格

：昭和四十九年四月二日から昭和六十一年四月一日までに生まれた者で、警察官Aの受験資格を有しない者  
**▼受付期間**：七月二十八日～八月十九日  
**▼一次試験日**：九月二十一日

### ★問い合わせ

福島県人事委員会  
 ☎(521)7588

### 国家公務員

(Ⅲ種試験)

人事院では、国家公務員採用Ⅲ種試験(高校卒業程度)の受験者を募集します。  
**【Ⅲ種試験】**  
**▼受付期間**：七月一日から八月(日)まで  
**▼職種**◇行政  
 ◇郵政◇税務

## 「下水道排水施設」の

### 清掃セールスにご注意を

最近「排水設備の清掃を役場から頼まれた。」などと各家庭を訪問し、清掃を進めている者がいるとの話を聞きますが、町では依頼しておりませんので、ご注意ください。

排水施設(台所、トイレなどから町で設置した「公共ます」まで)の点検・清掃については、各自が行うことになっており、必要に応じて信頼される町指定工務店に相談されるようお知らせします。

なお、不明・不審な点がありましたなら、左記にご連絡をおねがいします。

### ★問い合わせ・連絡先

上下水道課 下水道グループ  
 ☎(585)2984

「役場のほうから」「消防署のほうから」と公的機関の名をかたり、商品を売りつける被害も報告されています。不審に思った場合には県消費生活センター(☎52110999)に相談しましょう。

★この他に入国警備官や刑務官等の試験も実施されます。受験資格など詳細や資料請求は次まで。

### ★問い合わせ

人事院東北事務局第二課 ☎022(221)2022



## お知らせ

一人で悩まず相談を！  
〔特設人権相談所開設〕

七月は「社会を明るくする運動」強調月間です。

毎日の生活のなかで、ふくらんでいく悩みを、ひとりではかえらないで、特設人権相談所にお気軽にご相談ください。相談は無料です。秘密は厳守します。むすかしい手続きもありません。  
〔特設人権相談所〕

▼日時：七月十日(木)

## 異文化体験教室

「国際交流」人との共生！  
「ふるさと体感」森との共生！

県北地方に住む小学5年生から中学生を対象に、異文化体験教室を開催します。在宅外人との交流を通じ、外国の文化・生活などを体験するものです。

- 開催日…8月1日(金)
- 内容…福島市市民会館での在住外国人との交流をはじめ、外国料理を自分たちで作る試食、茶室で茶道の体験
- 参加資格…県北地方に住む小学5年生から中学生(40名)
- 応募締切…7月16日◆参加料は無料です。応募方法や詳細はお問合せください。

★応募先・問合せ先

〒960-8601

福島市役所内福島地方広域行政事務組合  
「異文化体験教室」係 ☎(521)8312  
<http://www.abukuma17.fukushima.fukushima.jp>

午前十時から午後三時まで  
▼場所：国見町親月台文化センター  
★問い合わせ  
福島地方事務局 人権擁護課  
☎(534)1111

聴覚障害者巡回相談会のお知らせ

福島県障害者総合福祉センター主催による相談会を開催いたします。

▼日時：七月十八日  
午後一時～午後三時  
▼場所：月館町公民館

相談内容：補聴器の要否・処方及び修理又は

使用方法等に関する相談耳の疾病、聴力の程度に関する相談 など  
※相談は無料ですが、事前に予約が必要です。  
保健福祉課福祉グループ ☎(585)2793  
までご連絡ください。

「55周年を迎えた  
検察審査会」

検察審査会制度は、検察官が被疑者(犯人と思われなかったこと(不起訴処分)のよしあしを、国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が審査する

という制度です。国民の一般的な良識を検察官の仕事に反映させ、より良い刑事司法を実現するため、検察審査会法により設けられたこの制度は、七月十二日に五十五周年を迎えます。

## 阿武隈川サミット10周年記念事業

ミュージカル「リバーヘッド」森と川と水源地のものがたり  
7月16日(水) 開演18:30～ 福島市公会堂

阿武隈川沿線の市町村長で組織する、阿武隈川サミットでは10周年を記念しミュージカルを開催します。入場は無料ですが、入場整理券が必要です。次により申し込みください。

- ◆申し込み方法…往復はがきに、住所・電話番号・全員の氏名(往復はがき1枚につき5名まで)・年齢・会場名(福島市公会堂)を明記し、〒184-8577 東京都小金井市本町6-5-3 ふるさときやらばん「リバーヘッド」事務局福島市係まで、お送りください。1,500名様をご招待いたします。(応募多数の場合は抽選。観覧対象は小学生以上となり、未就学のお子様はご遠慮ください。)

★お問い合わせ 阿武隈川サミット実行委員会(福島市河川課)  
☎525-3756

## 電話加入権等公売

福島県で所有する電話加入権及び電話利用権を一般競争入札により公売します。▼とき 平成15年7月26日(金)  
▼ところ 福島県庁東分庁舎内会議室  
★問い合わせ先 福島県県北地方振興局県税部納税グループ ☎521-7634



## 河川をきれいに

7月は河川愛護月間です

七月は河川愛護月間です。ふるさとの河川を守るため、町内を流れる河川を対象に、クリーンアップ作戦を展開します。このクリーンアップ作戦は、全国一斉に行われるもので、河川敷に捨てられたごみや空き缶などを回収したり、雑草木の刈り払いを行うものです。ご協力をお願いします。実施日は次のとおりです。

### クリーンアップ作戦 7月6日(日)

★後日、詳しいことをご知らせします。  
★問い合わせ  
建設課管理グループ ☎(585)2972  
kensetu@town.kunimi.fukushima.jp

### 福島県農業振興審議会委員の公募について

福島県では、農業の振興に関する基本的事項について調査審議する「福島県農業振興審査会」の委員のうち「農業・農村に関心ある女性2名」を、広く県民の皆様から公募させていただきます。

応募方法等詳細は次までお問い合わせください。

★お問い合わせ

福島県農林総務領域農林企画グループ

☎521-7319

戦没者等の妻および父母等の皆さんへ  
特別給付金の継続支給  
特別給付金の最終償還を終えた戦没者等の妻や父母等で、次の要件を満たす方で、改めて特別給付金が支給されます。▼第十七回特別給付金「い号」国債を受けた戦没者の妻で、平成十五年四月一日現在で、公務扶助料、遺族年金等を受ける権利を有している方… 額面二百万円の特別給付金支給 ▼第十九回特別給付金「い号」国債

を受けた戦没者の父母等で、平成十五年四月一日現在で公務扶助料、遺族年金等を受ける権利を有し、かつ平成十五年三月三十一日までの間に氏を同じくする子も孫も有するに至らなかった方… 額面百万円の特別給付金支給 ▼請求期限：平成十八年三月三十一日

★問い合わせ・請求手続き先 保健福祉課福祉グループ ☎(585)2793

### 福島県統計グラフコンクール作品募集

統計については興味と親しみを持っていただくため「第53回福島県統計グラフコンクール」の作品を募集しています。

◆募集作品 観察記録や既存のデータなどを手書きまたはパソコンでグラフにしたポスター  
マターマ 自由  
マダキさ72.8cm  
×51.5cm(B2判)

◆応募資格 小学生以上

◆募集期限 9月5日

★応募・問い合わせ先

〒980-8670

県庁情報統計領域 統計分析グループ

☎024-521-7143

### 松くい虫防除

町では松くい虫による被害を防ぐために、ヘリコプターによる薬剤散布を行います。

▼散布地域◇石母田横

向周辺の松林◇泉田新

田集落周辺の松林▼散

布日・時間◇六月十六

日、六月三十日◇石母

田地区・泉田新田地区

ともに午前四時三十分

～六時◇散布日や散布

時間は、天候によって

変わる場合があります

◆散布日は対象区域内

に立入らないでください

◆散布区域の林道は

通行止めになります。

### ★問い合わせ

産業振興課産業振興グループ

☎(585)2986

### ◎結婚おめでとう

齋藤充弘さん 渡部真澄さん

(耕谷)

### ◎誕生おめでとう

お子さん	保護者
安藤千紗さん	充輝さん (山形小)
五十嵐希さん	秀樹さん (板橋)
菊田彩斗さん	秀樹さん (板橋)
吉田菜斗さん	秀樹さん (板橋)
葉夢さん	秀樹さん (板橋)
舞美さん	秀樹さん (板橋)
佐藤康広さん	秀樹さん (板橋)
佐藤正子さん	美恵子さん (第10)
佐久間ウメさん	美恵子さん (第10)
吉田ウメさん	美恵子さん (第10)
松浦惣一さん	美恵子さん (第10)
中山恭子さん	美恵子さん (第10)
役場(2階)相談室	美恵子さん (第10)
●場所	美恵子さん (第10)
●時間	美恵子さん (第10)

### 7月の心配ごと相談

4日(金)	武田 鶴さん
	佐藤 正子さん
15日(木)	佐久間 巖さん
	吉田 ウメさん
25日(金)	松浦 惣一さん
	中山 恭子さん
●場所	役場(2階)相談室
●時間	午前9時～正午

### 人口と世帯

平成15年5月1日現在  
人口 10,976人(-24)

男 5,278人(-13)  
女 5,698人(-11)

出生 5人 死亡 10人  
転入 28人 転出 47人

世帯 3,217世帯(0)

(5月末日までに、当町窓口で受付した方、住所を有する方を掲載しました。)

掲載を希望されない方は、届け出の際にお申し出下さい。



平成十五年度阿津賀志学級の開講式並びに交通安全大学証交付式は、五月十二

## 阿津賀志学級開講式

生涯学習  
つうしん



国見町教育委員会生涯学習課  
(観月台文化センター)  
☎(585)2676 FAX(585)2707  
shogai@town.kunimi.fukushima.jp

日観月台文化センターホールにおいて百二十余名の学級生が出席して盛大に挙行されました。  
式は、安藤政治学級委員長の挨拶、富永町長からは学級の歴史的背景と昨今への発展の町づくりを盛り込んだ激励を受けました。  
中村一郎さんが新学級生十八名を代表して交通安全大学証等の交付を受け、佐藤忠美町議会議長と鈴木高行柔折警察署長の祝辞と助

## 行事のお知らせ

- 《6月》
- 20日(金) 合同学習(スポーツ民謡) 成人学級(議会傍聴) 少年仲間づくり (レクリエーション)
  - 23日(月) 子ども移動図書館(藤田小2)
  - 24日(火) 阿津賀志学級(書道) 子ども移動図書館(藤田小3)
  - 25日(水) 阿津賀志学級(陶芸) くにみ女性教室(給手紙)
  - 26日(木) 阿津賀志学級(和紙工芸) 子育て教室(みんなで遊ぼう)
  - 27日(金) 阿津賀志学級(草花を育てよう) 成人学級(環境を考える)
- 《7月》
- 2日(水) 阿津賀志学級(陶芸) くにみ女性教室(東北電力訪問)
  - 3日(木) 阿津賀志学級(和紙工芸) 子ども移動図書館(森江野小)
  - 4日(金) 子育て教室(おやつ作り) 子ども移動図書館(藤田小1)
  - 7日(月) 休館日
  - 8日(火) 阿津賀志学級(書道)
  - 9日(水) 阿津賀志学級(陶芸)
  - 11日(金) くにみ女性教室(給手紙)
  - 12日(土) 少年仲間づくり (オリエンテーション)
  - 13日(日) 子育て教室(応急手当)
  - 14日(月) 合同学習会(家系図と自分史)
  - 16日(水) 阿津賀志学級(陶芸)
  - 18日(金) 合同学習(スポーツ民謡) 成人学級(マジックへの招待)
  - 23日(水) 阿津賀志学級(陶芸)
  - 24日(木) くにみ女性教室(給手紙)
  - 29日~31日 少年仲間づくり(キャンプ)

言を頂き、健康で安全な調  
いある生活の確立を誓い合  
いました。

式の後、「加齢と体の変化」と題して公立藤田総合病院前院長原田實先生の記念講演があり、ユーモラスな雰囲気与生活に直結した具体例を引用しながら判り易く教授して頂き大変有意義な講演となりました。  
恒例の朝顔鑑賞会(八月一日予定)に出品していただくため、新入級生へ朝顔鉢一式が贈られました。  
年々入級生は、減少ぎみですが総学級生百八十名余で大変盛況です。積極的に楽しい「仲間」になりまし  
よう。

## くにみ女性教室開講

くにみ女性教室は、女性として心豊かに教養や趣味を身につけ、健康づくりを目指し、学級生三十九名でスタートしました。  
開講式は五月十四日に行われ、式終了後には班ごとに分かれて、魅力ある教室にするための話し合いが行われました。

今年度は、講話、調理実習、研修旅行、折り紙など十三回の全体学習とスポーツ、給手紙、スポーツ民謡、煎茶の趣味のグループ学習を予定しています。  
女性の女性による女性の



ための学習を通じて学級生同士が、交流を深めながら楽しく参加できるように考えています。

開館十周年記念写生大会審査会入賞者決定

写生大会 入賞者決定

五月十日に開催した観月台文化センターの写生大会において提出された五十六点の作品の審査会が行われ、石原晃雲先生と町内の小学校美術教師による審査で入賞者が決定しました。入賞作品については、今年の日見町文化祭において展示します。



町長賞に輝いた本多直哉くんの作品

審査員賞 山田愛理(小阪小)  
親子賞 佐藤陽子 陽菜 礼菜 弘大

優秀賞

赤坂 春奈 石原 和輝

佐藤 宏美 八島 千尋

松浦亜沙子 八巻 七重

佐久間恵利華 徳江晶美

村上賀奈子 八巻 美里

佳作

石原菜々子 山田夕理香

黒田 芽歌 大津 聡史

清水 翔太 佐藤瑛梨奈

東海林磨那美 舟山美穂

三浦万理子 穂苺 華奈

赤井 畑識 佐藤 秀美

玉手 優子 関 明日香

《入賞者》(敬称略)

町長賞 本多直哉(藤田小四)  
議長賞 伊藤 早紀(筑北中三)  
教育長賞 武田紗由美(筑北中二)

観月台文化情報

平成15年度少年劇場

「ふたりのイーダ」

原作 松谷みよ子

6月28日(土)

午前10:30~

入場無料

問い合わせ ●●● 生涯学習課 ☎(585)2676

~新しい本が届きました~

(一般書)

- 釈迦……………瀬戸内寂聴  
ゲームの名は誘拐……………東野 圭吾  
深川黄表紙掛取帳……………山本一力  
わかるとはどういうことか……………山鳥 重  
半七捕物帖1~6……………岡本綺堂  
山田風太郎明治小説全集1~7……………山田風太郎  
日本百名山の背景……………安宅夏夫  
青空のおごころ……………アレックス・シアラー  
料理人……………エマ・ホリー  
立志ふたたび……………出久根達郎  
(児童書)  
ヌンのるすばん30日……………大塚篤子  
シキユスの剣……………泉啓子  
さらわれる……………岩瀬成子  
まじよのめざまし……………茂市久美子  
ぼくは貝の夢をみる……………盛口満  
ベチューニアのだいりょこ……………  
……………ロジャー・デュボアザン  
アマリア姫とごころもち城……………アレクサンドラ・フィッシャー  
とびたて竜の子ダント……………ジェニー・ニモ  
家の中ではとばないで……………ベティ・ブロック  
はるちゃんね……………さいとう しのが

プールは7月5日から

- 期間 7月5日~8月24日  
(ナイターは7月19日~8月17日)
- 時間 ①9:00~11:30  
②13:00~15:00  
③15:30~17:30  
④18:30~20:30  
(④はナイター期間のみ)



募集 スポーツテスト 自分の体力を知って、健康づくり

- 日時 7月13日(日) 午前9時から…65才以上の部  
午後1時から…20才~64才の部
- 内容 65才以上の部…握力測定、上体起こし、前屈、片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行  
20才~64才の部…握力測定、上体起こし、反復横とび、前屈、立ち幅跳び、シャトルラン
- 場所 観月台文化センター体育館
- 対象 国見町在住又は在勤の方
- 定員 それぞれ30人ずつ
- 参加料 無料
- 申込み 7月1日まで生涯学習課へ(電話での申込可)

募集 親子で楽しむ ソフトバレーボール教室

- 日時 7月26日(土)・27日(日) 午前9時~午前11時30分
- 内容 少人数、幅広い年齢層でできるバレーボール。
- 場所 観月台文化センター体育館
- 対象 国見町在住又は在勤の方。年齢、性別は問いません。親子でなくとも可。
- 定員 30人
- 参加料 無料
- 申込み 7月14日まで生涯学習課へ(電話での申込可)

スポーツ



# 国見ニュータウン



## 快適さを もっと活かして

恵まれた立地条件を活かし、快適さ・心地よさを集大成した街「国見ニュータウン」。厳しい経済状況のもと、毎年着実に販売を進め、既に一〇〇区画の分譲を達成しました。既に七十世帯、二百五十人を超える方が居住され、半数以上が国見に移り住まれた方で、定住化構想も前進しております。

「国見町が国土交通省の補助のもと、しっかり造ったものだから、安心さらに格安」このことを大切に、既に入居されている方はじめ多くの皆様に信頼・支援されるよう努めてまいります。

## 残り62区画分譲中

100区画分譲により、現在62区画を分譲しており、先着順に要望区画が選択できます。建築期限の制限は無く、将来予定される子供さん等のためにも購入いただけます。この機会には是非現地をご覧ください。

詳細は下記へお問い合わせください。現地案内も随時行っておりますので、お気軽に連絡ください。

## 支払条件大幅緩和

- 契約時に1割、残りは3年以内の分割納入が可能に!
- 借り入れによる一括支払の場合は3年間の利子補給制度新設(1千万円を限度に、2%について3年間利子補給)

お申込み・お問い合わせ

## 国見町企画財政課

kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

☎585-2927

- POINT 1 上・下水道完備
- POINT 2 お求めやすい坪10.2万円から
- POINT 3 71坪~139坪のゆとりの立地
- POINT 4 段差のない車道と歩道
- POINT 5 憩いの緑地公園4カ所
- POINT 6 恵まれた立地条件 国見IC蒲田駅まで数分



発行編集

## 国見町

〒069-1792  
福島県伊達郡国見町大字  
藤田字一丁田一2の1  
TEL 024-5652111  
FAX 024-5652111  
E-mail: soun@town.kunimi.fukushima.jp  
URL: www.town.kunimi.fukushima.jp



▲にしのおしる  
森江野小2年 吉田留衣

おこりんぼうおに  
森江野小2年 実沢陽太



▲犬のおやこ  
佐藤絵梨華



▲うみのふしぎないきもの  
森江野小2年 石川稀世樹

# 小さな天才たち